

# 哲学史の隠れた鍵としての アフロディシアスのアレクサンドロス

**2018年3月2日（金） 東洋大学白山キャンパス6号館1階第3会議室**

10:30-10:40 趣旨説明

10:40-11:30 近藤 智彦（北海道大学）  
「アレクサンドロスの自由意志論はどうして評判が悪いのか」

11:30-12:20 アダム タカハシ（東洋大学）  
「アレクサンドロスとアヴェロエス——形而上学・霊魂論・自然学」

14:00-14:50 安田 将（北海道大学）  
「混合論という問題の誕生——アレクサンドロスとピロポノスを中心に」

14:50-15:40 渡邊 真代（東京大学）  
「アラビア語圏のアレクサンドロス——ジャービル・ブン・ハイヤーンが伝えるその質料・形相・運動論」

15:50-16:40 西村 洋平（龍谷大学）  
「古代末期哲学の形成——プロティノスによるアレクサンドロスの素材・形相・魂論の受容と批判」

16:40-17:30 坂本 邦暢（東洋大学）  
「アレクサンドロスのルネサンス——知性・霊魂・神学」

17:30-18:00 全体討論

## アリストテレスと現代 (1) 自然主義と哲学方法論をめぐって

**2018年3月3日（土） 早稲田大学26号館702教室**

14:00-14:10 趣旨説明

14:10-15:00 高橋 祥吾（徳山工業高等専門学校）  
「アリストテレスの方法論におけるピュシス——「オルガノン」での用例を中心に」

15:10-16:00 稲村 一隆（早稲田大学）  
「分類の方法論——アリストテレスの生物学と政治学から」

16:15-17:30 植原 亮（関西大学）  
「方法論的自然主義」

17:30-18:00 全体討論

参加自由

問合せ先： 近藤 智彦（北海道大学大学院文学研究科）  
kondo@let.hokudai.ac.jp